

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	がけ・擁壁改善資金融資	款	5	項	2	目	1	事業	8	整理番号	397	
担当部課名	都市整備部土木管理課	係名	占用係			連絡先電話番号	3402			昨年度整理番号	404	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部土木管理課						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 一般通行の用に供されている区内の区管理道路に面するがけ・擁壁の所有者で、一定の資格要件を備えた者					根拠法令等	(1) 杉並区がけ及び擁壁改善資金融資あっせん条例 (2) 杉並区がけ及び擁壁改善資金融資あっせん条例施行規則				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○危険な がけ・擁壁を改善(設置、改修、補強)することにより、地震等による被害の軽減を図るとともに、公衆の安全な通行を確保します。					活動指標名(式)	(1) 利子補給事務取扱件数 (2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区管理道路に面した がけ・擁壁を改善しようとする者に対し、区が指定した金融機関に資金の融資をあっせんし、借入金にかかる利子を補給する。					成果指標	※(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 利子補給事務取扱件数前年度比率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等				
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画				
指標	活動指標(1)	① 件	0	2	0	1	0	1	0.0			
	活動指標(2)	②										
	成果指標(1)	③ %	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0			
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	0	1	0	108	6	96	23年度予算執行率% 5.6			
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 新規の融資あっせんの実績はありません。			
	(内)委託費	⑦ 千円	0	0	0	6	6	6				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.14 0.00	0.14 0.00	0.14 0.00	0.14 0.00	0.14 0.00	0.14 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	1,243	1,249	1,249	1,246	1,246		1,246		
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0		0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	1,243	1,250	1,249	1,354	1,252	1,342				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円		625,000		1,354,000		1,342,000				
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0		0		
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0		0		
		都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0		0		
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0		0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	1,243	1,250	1,249	1,354	1,252	1,342				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 397

23年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		区内の金融機関各支店との契約	20	店
(1) 主な取組み				
	その他(通信費)			6
(2) 事業実績	区内の金融機関各支店との契約をしましたが、融資あっせんの実績はありませんでした。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	低金利が続き、平成9年度以降は利用者がありません。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特段ありません。
	今後の予測	特段の変化は予想できません。
評価と課題	昨今の金利の低い状況では、利子補給は資産活用の動機付けになりません。他の融資制度との整理統合が課題になります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	他の融資制度との整理統合を図るか、個人への融資あっせんではなく、防災に資する他の公共事業に予算を投入すべきと思われます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		土木事務所維持管理		款	5	項	2	目	2	事業	1	整理番号	398
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	工務係		連絡先電話番号		4632		昨年度整理番号	405	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和	▼	32	年度		<input type="checkbox"/> 主要事業						
事務事業の概要	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法 第281条 (2) 杉並区土木事務所処務規定						
	土木事務所職員、材料置場等関連施設利用者、施設管理人												
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○施設の機能・性能を常に良好な状態にし、安全で能率的な環境を確保する。		活動指標名(式)		(1) 保全・維持管理面積 (2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○施設の運営にあたり、日常的・定期的業務並びに修繕を計画し、それに基づき適切な保全・維持管理を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		施設保全比率							
				算定式・指標の説明等		(補修件数/不具合、破損件数)×100							
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	m ²	1,291	1,291	1,291	1,291	1,291	1,291	1,291	100.0		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	8,964	10,148	7,878	9,648	8,747	10,243	23年度予算執行率% 90.7			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行率は、震災・原発事故等による節電対策の光熱水費等執行残の影響が出ています。			
	(内)委託費	⑦	千円	3,647	3,045	2,782	3,112	2,923	3,118				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.54 1.00	1.24 1.00	1.54 1.00	1.24 1.00	1.40 1.00	1.24 1.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,674	11,061	13,737	11,036	12,460			11,036	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,793	2,950	2,950	3,080	3,080			3,080	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	25,431	24,159	24,565	23,764	24,287	24,359				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	19,699	18,713	19,028	18,407	18,813	18,868				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	25,431	24,159	24,565	23,764	24,287	24,359				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 398

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設光熱水費	1	施設	3,130
		建物清掃請負及び機械保守委託	1	箇所	1,984
		施設修繕費	1	施設	1,462
		電話及び通信費	1	箇所	699
		その他（ 駐車場利用料 ほか ）			1,472
	(2) 事業実績	昨年度から引き続き、施設整備や維持管理の一部は、職員の技術や知識を活用し事務所にある資機材を使って施設の維持修繕を行い、支出の削減を図りました。また、光熱水費は、昨年度より若干増えましたが、引き続き、職員全員で節電の努力をしています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	当初は、事務所が土木と公園に分かれていたが、平成5年度に統合され4ヶ所の土木公園事務所になった。同時に区内を二分して管轄するように工事第一課・第二課が組織されたが、平成13年度から区内全域を維持課が管轄。事務所も土木と公園に分割されそれぞれ2ヶ所の体制となった。なお、平成18年度からは、維持課と2土木事務所についてはこれを一本化し、かかる事業については杉並土木事務所1箇所ですべて統合管理することとなりました。
	今後の予測	築34年を超過し、施設の老朽化が目立ち始めました。今後は修繕箇所がおおくなり修理費がかさむようになると思われます。不良箇所が大事に至らないようにするために、日々の点検が重要となると考えられます。
	評価と課題	これまでも、土木施設の維持管理拠点として、区民からの要望に迅速な対応を行い、また、水防活動や震災時の現場本部として大きな役割を担っている重要な場所となっています。このため、土木事務所と材料置場は、欠かせない施設です。近い将来に、東京直下型の大地震が発生するとの予測もあり、震災時の復旧において重要となる事務所の建物がその地震に耐えられるかとの不安があります。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
			II 事業の改善	○ 事業内容の変更		● 実施方法の変更
	当面は、現状維持としても、建築後34年を超過した建物となっています。災害時には中心となって活動する重要な建物であるために、地震にどの程度耐えられるのか調査する必要があります。その結果により方向性は決まるものと思います。耐震診断に関して関係部署と相談調整を図っていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 399

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		区道、区有通路の認定・指定	1	件	
		権原取得	13	件	100
		用途廃止・交換	10	件	
		区域変更	232	件	70
		その他 (路線廃止(区有通路)4件)			81
	(2) 事業実績	東京都から譲与を受けた道路敷を区有通路に指定しました(1路線)。また、道路拡幅等の区域変更を232箇所行い、道路区域内の民有地6箇所の寄附を受けました。一方、機能喪失水路等の用途廃止・交換を10件、機能喪失している区有通路の路線廃止を4件行い、財産の適正管理を図りました。この結果、区管理道路の面積が5275㎡増加しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 昭和28年に道路が東京都から特別区に一括移管され、杉並区道としての管理が始まりました。 平成元年度に狭あい道路拡幅整備事業が開始、年間約300の整備地を道路区域としています。 地方分権一括法に基づく区への国有財産移管により、14年度から区道等の機能管理と財産管理が一元化されました。 	<ul style="list-style-type: none"> 私道について、地権者や居住者から区道化の要望があるが、権利関係や測量費用などの調整が整わず、手続きが中断する事例があります。 道路内の民有地や道路拡幅敷地の買取を要望する声があります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> 道路、区有通路等を構成する国有地や都有地が移管され、機能管理だけでなく財産管理が区の業務となり、事務量が增大しています。また、大規模開発事業や都市計画事業等も計画されており、これに伴う道路認定、改廃業務が増加するものと予想されます。
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 道路、区有通路等の主要構成敷地である国有財産及び都有地移管が完了し、公共施設としての管理が適正に行えるようになりました。一方で境界確定、用途廃止など財産管理の事務量増への対応が課題となっています。
	評価と課題	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	II 事業の改善
			<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	<p>・個々の申請事案に対し、基準・法令の適合の是非を審査し、手続きを行う事務であるため、改革を行う余地は現在のところありません。</p>		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	道路等の管理区域確定	款	5	項	3	目	1	事業	2	整理番号	400
担当部課名	都市整備部土木管理課	係名	区域調査係			連絡先電話番号	3485			昨年度整理番号	407
(平成23年度担当部課名)		都市整備部土木管理課						予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	45	年度	<input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 道路法18条、28条、97条 法令等 (2) 杉並区公有財産管理規則 第17条				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区が管理する道路・区有通路・水路に隣接する土地所有者 ○区が管理する道路等の公共用地					活動指標名(式) (1) 土地境界確認及び道路区域等の確認申出(申請)件数 (2) 管理区域の調査測量延長				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○土地の登記や建物の建築を行う土地所有者からの申請に基づき、道路等公共用地との境界等を、立会い・協議・測量を実施し確認する。 ○杉並区が管理する道路等公共用地の適正な管理のために測量を実施する。 ○道路等公共用地の境界確認等に関する資料を電子化し、境界確定等の管理検索システムにより管理することにより、道路等公共用地の迅速で適正な管理をする。					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 土地境界確認及び道路区域等確認の通知書発行件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 土地境界等の証明書発行件数 算定式・指標の説明等				
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画			
指標	活動指標(1)	①	件	580	650	629	650	628	650	96.6	
	活動指標(2)	②	m	4,173	2,390	4,757	2,790	3,676	2,790	131.8	
	成果指標(1)	③	件	1,990	2,300	1,854	2,300	2,268	2,300	98.6	
	成果指標(2)	④	件	737	630	698	630	746	670	118.4	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	26,960	27,720	25,853	28,923	25,937	27,240	23年度予算執行率% 89.7	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○公共用地測量委託等において、予定していた測量箇所が中止になったため、執行率が89.7%となりました。	
	(内)委託費	⑦	千円	26,236	26,534	24,701	26,330	23,757	26,356		
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	12.40 0.52	12.00 1.00	12.19 0.49	12.00 1.00	12.19 0.47	12.00 1.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	110,100	107,040	108,735	106,800	108,491		106,800
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,452	2,950	1,446	3,080	1,448		3,080
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	138,512	137,710	136,034	138,803	135,876	137,120		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	238,814	211,862	216,270	213,543	216,363	210,954		
	財源	受益者負担分	⑬	千円	221	189	209	189	224		201
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	221	189	209	189	224	201		
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	138,291	137,521	135,825	138,614	135,652	136,919		
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1			

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 400

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				公共用地測量委託	13
		管理区域確定調査測量委託	3	件	1,281
		建築確認申請等に伴う測量委託	139	件	11,599
		境界確認事務費(測量機器の買替え等)	1	件	2,323
		その他(境界確認図等電子化委託)	32		
	(2) 事業実績	公共用地の境界・区域の確認について、628件の申出(申請)を受けました。区内の都有地等の境界確認に際し、33件の立会い協議を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国有財産譲与(平成13年度～15年度に譲与申請)に伴い、土地境界確認事務が増加しています。国有財産の譲与前(平成10～12年度)の土地境界等確認の年間平均確認数331件 国有財産の譲与後(平成21～23年度)の土地境界等確認の年間平均確認数612件(申請等受付)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	土地境界・道路区域確認等の現地測量や図面作成などの費用が申出(申請)者の負担となっています。申出(申請)者の費用負担が軽減されるよう、区が道路管理者として自ら道路区域の測量をすべきであるとの要望があります。
	今後の予測	22年度は景気回復傾向により申請件数の増加が見られたが、23年度は大きな景気変動が無かったため、申請件数は前年度とほぼ同様でした。今後、景気動向等により増減が左右されるものと予測されます。
	評価と課題	土地境界等の確認は、土地の登記や建築確認等の際に申出されることが多く、申出件数は景気動向等の影響を受けます。23年度は前年度とほぼ同数の申出件数でしたが、今後の景気動向等を注視し適切に対応することが課題となります。また、当事業と関連がある地籍調査は24年度からモデル地区を設定し開始しましたが、区内全域の調査は長い期間と相当な費用を要するため、十分な検討を行い計画的に事業を進めていく予定です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
	23年度に地籍調査事業の基となる公共基準点(世界測地系)の整備が実施されたため、今後は公共基準点を使用した境界確定図等の作成方法や図面のチェック方法の検討を行い、関係部署と調整し迅速かつ正確に業務が行える体制を作っていく予定です。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 401

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路管理システム運営費負担金	1	式	4,814
		道路管理システム用端末機リース料	2	台	544
		道路管理システム用端末機保守管理委託料	1	式	444
		土地所有者との立会い、境界確認是正指導及び路上はみ出し樹木等の是正指導	256	箇所	
		その他（舗装種別・工事調整図印刷、道路上工事調整会議ほか）	1,424		
	(2) 事業実績	不法占用取締りについては、水路の沿線の建築申請に合わせた境界の調査、是正指導を行いました。道路パトロール・区民要望による是正を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成22年4月から平均20%アップの占用料改定を行いました。ライフラインの老朽化が進み、その改修に伴う占用・使用許可件数は、毎年高い数値が続いています。水路については、国有財産であったことから越境物件が多く、これが平成13～16年度に地方分権一括法に基づき移管され、区が所有者として管理する義務が生じました。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	占用・使用許可に基づく道路工事に起因する騒音・振動、交通規制に対する苦情が寄せられることがあります。道路のはみ出し商品、違反広告物、はり出し樹木など、道路の適正利用に関する要望・苦情が寄せられています。
	今後の予測	特に水路の不法占用については、今後も要望、相談が増加していくと予想されます。
	評価と課題	建築に際しての水路敷きの不法占用の是正指導は、活動成果指標は減ったものの、是正の成果を上げています。今後とも不法占用に対して着実な対応をしていきます。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	不法占用の是正については、職員による指導が中心になるため、大きな見直しはありません。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		道路台帳の整備		款	5	項	3	目	1	事業	4	整理番号	402
担当部課名		都市整備部土木管理課		係名	台帳整備係		連絡先電話番号		3406		昨年度整理番号	409	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部土木管理課		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和	▼	28	年度		<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業						
事務事業の概要		対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 道路法 28条							
		区が管理する道路等に隣接する土地の所有者又は土地取引等で情報を必要としている者		(2) 杉並区区有通路条例									
		事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 道路台帳の閲覧件数							
		○道路台帳を整備し、道路等に関する情報を管理・提供します。		(2) 道路台帳の閲覧者数(窓口来庁者数)									
事務事業の概要		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		○道路・区有通路・橋りょう・公共溝渠の台帳整備 ○道路情報等の閲覧サービス ○土木施設の管理数値 ○地籍調査 ○公共基準点の整備及び管理		成果指標名(1)		道路台帳の補正延長							
				算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		道路台帳の補正率					
				算定式・指標の説明等		補正延長÷区管理道路等延長×100							
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)				
指標	活動指標(1)		①	件	18,833		18,501		20,101				
	活動指標(2)		②	人	15,639		15,191		16,202				
	成果指標(1)		③	m	6,123		5,291		7,015				
	成果指標(2)		④	%	1.0		1.0		1.0				
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	17,431	11,017	10,006	12,752	12,191	57,233	23年度予算執行率% 95.6		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費		⑦	千円	15,669	9,348	8,728	11,492	11,084	55,214			
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	4.15 2.00	4.00 1.61	4.09 1.61	4.00 2.61	4.11 2.59	4.00 3.59			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	36,848	35,680	36,483	35,600	36,579			35,600
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	5,586	4,750	4,750	8,039	7,977			11,057
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	59,865	51,447	51,239	56,391	56,747	103,890			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	3,179		2,770		2,823				
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	32,655				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	32,655				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	59,865	51,447	51,239	56,391	56,747	71,235				
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 402

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路台帳調書等補正委託	7,015	m	6,657
		公共基準点管理保全委託			813
		道路台帳情報システム保守委託等			3,611
		一般需用費等			1,110
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	平成23年4月1日に国から街区基準点の移管を受け、区の公共基準点としての運用を開始し、維持保全のための公共基準点管理保全委託を実施しました。また、道路台帳情報システムにつきましては、登載データを増やす等の機能改良を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区道や水路などの底地は、国有地が大半を占めていて、これらは従前東京都が財産管理を行っていましたが、地方分権一括法の施行によって平成13年4月から平成17年3月にわたり国から杉並区へ譲与されました。このことで、杉並区は、公物管理と合わせ、財産管理についても行うこととなりました。また、測量法や不動産登記法等改正並びに近年の測量技術及びIT化の進展等によって、より一層正確で効率的な道路台帳の整備・管理が必要になっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路情報の閲覧複写システムの導入によって、利用者から「閲覧手順が簡単になった」、「閲覧図面が改良されて見やすくなった」、「閲覧・印刷に要する時間が短縮された」などの評価をいただいています。
	今後の予測	現代の行政全般の合理化・効率化においては、GIS(地理情報システム)の活用が不可欠であり、その基図としては、区が所有する唯一の大縮尺地図である道路台帳平面図を使用することが最も合理的です。平成24年度から地籍調査を実施することで、その効果の一つである道路台帳整備等公共物管理の適正化が期待されます。
	評価と課題	国からの街区基準点の移管と国の都市部官民境界基本調査によって、区の公共基準点の整備が完了しました。また、同調査によって作成された区全域の高精度の地図は、地籍調査、道路台帳、GIS(地理情報システム)等への活用や、区民への提供等も可能な区独自の地図として広く活用できます。今後は、この地図の維持保全やGISの構築と運用方法を確立していかなければなりません。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	平成24年度から国土調査法に基づく地籍調査を実施します。地籍調査は、登記されている土地ごとの所有者・面積・地目・地番・境界を明らかにする土地の最も基本的な調査で、その成果は、①地震・水害等の災害により土地の形状が変わってしまった場合も、元の境界を正確に復元することができる。②土地の取引や相続における土地境界をめぐるトラブルを未然に防止できるほか、測量の時間と費用を軽減できる。③道路・公園などの都市基盤を整備する際、境界確定や用地取得にかかる多大な時間と費用を軽減できる。などの効果があります。しかし、土地が細分化され、権利関係が複雑な都市部においては調査に長い期間と費用を要し、進捗率が極めて低い状況であるため、国は実施主体である自治体の負担を軽減させるための様々な施策を用意しています。区ではこれらを積極的に活用し、補助金を利用することで区の財政負担の軽減を図りながら着実に地籍調査を実施していかなければなりません。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		私道整備助成		款	5	項	3	目	1	事業	5	整理番号	403
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4633	昨年度整理番号	410
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所		予算事業区分		投資事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	39	年度		<input type="checkbox"/> 主要事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区私道の整備に関する条例						
	○私道管理者、沿道住民及び私道排水設備利用者						等 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)						
○地域住民の交通の安全確保、生活環境の整備及び公衆衛生の向上を図る。						(1) 舗装整備実績							
						(2) 排水設備施工実績							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○申請のあった私道の雨水桝清掃、舗装整備工事、排水設備工事の助成を行う。						成果指標名(1) 舗装整備率							
						算定式・指標の説明等 計画面積に対する実績面積							
						成果指標名(2) 排水管施工率							
						算定式・指標の説明等 計画延長に対する実績延長							
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	m	4,440	11,600	4,329	11,600	3,506	11,000	30.2			
	活動指標(2)	②	m	136	350	77	350	51	500	14.5			
	成果指標(1)	③	%	38.0	100.0	37.3	100.0	14.5	100.0	14.5			
	成果指標(2)	④	%	39.0	100.0	22.0	100.0	14.5	100.0	14.5			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	123,340	130,059	126,238	110,000	99,498	100,000	23年度予算執行率%		90.5	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	123,340	130,059	126,238	110,000	99,498	100,000	特記事項 ○申請主義のため目標値は定めない。			
	(内)委託費	⑦	千円	274	520	278	520	275	520				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.45 0.00	2.98 0.00	3.45 0.00	2.98 0.00	3.19 0.00	2.98 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	30,633	26,582	30,774	26,522	28,391				26,522
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	153,973	156,641	157,012	136,522	127,889	126,522				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	6,900	2,292	7,109	2,286	8,097	2,411				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	153,973	156,641	157,012	136,522	127,889	126,522				
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 403

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		舗装整備工事	3,506.4	m ²	95,750
	排水設備工事	50.7	m	3,435	
	雨水桝清掃請負	161	個	255	
	その他(切手代、工具等)			58	
	(2) 事業実績	私道舗装等の工事を行う地域住民に対して助成金を交付することにより、私道を維持する住民の負担軽減を図っています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和39年に条例を制定し、私道の舗装を「受託方式」にて行ってきましたが、平成20年10月1日より「助成金方式」への制度改正を実施しました。これにより、改修工事の基準の明確化と、迅速な工事の実施が可能となりました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	助成率については、「何年待っても良いので、現行のまま据え置きで願いたい。」という区民意見が多数を占めています。また、「私道を区で管理してもらいたい。」という相談も依然としてあります。
	今後の予測	再舗装の需要が大幅に増加するものと予想されます。
	評価と課題	区内の私道は、おおむね舗装済みの状況にあります。助成方式が変更され、私道の所有者や沿道居住者と事業者が一体となって整備を行うことで、私道管理者の意識向上が期待されます。予算額と需要額のミスマッチが生じており、助成までに数年かかる状況です。東日本大震災の影響と思われる道路陥没が多発しており、区へ緊急な対応を求めるケースが急増しています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
		<p>○受託工事方式から工事費助成方式へ変更したことで、申請から舗装完了までの時間が短縮されました。他の自治体も同様の方式へ移行しており、方式はこのままで良いと判断できます。</p> <p>○助成率の見直しが考えられますが、区民の意見は、「現状のまま据え置きで」との希望が多数を占めています。近年、申請希望者が大幅に増加しており、数年待ちの状況にありますので、予算上の検討が必要となっています。</p>				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		道路維持補修		款	5	項	3	目	1	事業	6	整理番号	404	
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	工務係		連絡先電話番号		4632		昨年度整理番号	411		
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所		予算事業区分		既定事業								
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	28	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区道(区有通路等を含む)を利用する歩行者や通過車両及び沿道住民。		根拠法令等	(1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第16条1項									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○利用者にとって安全で快適な道路環境を維持する。		活動指標名(式)	(1) 管理道路総延長(km) (2) 管理街路樹の総数(高木)(本)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区道(区有通路等を含む)の日常の点検調査や住民からの要望等により、道路の維持補修等を行い適正な管理を図る。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民からの通報に基づく調査または対応の実施 算定式・指標の説明等 現地調査または対応の数÷住民からの要望数×100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	km	789	789	789	751	751	674	100.0				
	活動指標(2)	②	本	1,716	1,716	1,868	1,868	1,874	1,874	100.3				
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	632,078	661,816	607,242	667,110	653,648	640,424	23年度予算執行率% 98.0				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	6,200	409,100	403,797	431,819	426,994	412,200	特記事項 平成23年度以前の活動指標①の数値の中に歩道延長等の数値も含まれていたため、平成24年度から、区管理道路数値に変更をしました。				
	(内)委託費	⑦	千円	597,096	620,443	571,321	626,744	616,411	599,238					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	7.90 2.00	7.52 2.00	8.10 2.00	7.52 2.00	8.20 2.00	7.52 2.00					
	人件費(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	70,144	67,078	72,252	66,928	72,980	66,928					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	5,586	5,900	5,900	6,160	6,160	6,160					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	707,808	734,794	685,394	740,198	732,788	713,512					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	889,237	412,793	356,904	410,625	407,182	447,050					
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
国からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑱-⑬)	⑲	千円	707,808	734,794	685,394	740,198	732,788	713,512						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 404

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路維持補修工事	22,717	m ²	347,437
		道路等日常保全業務委託			98,627
		歩行系通路維持補修工事	1,625	m ²	37,092
		街路樹等管理委託			38,335
		その他 (透水性舗装洗浄委託 ほか)			132,157
	(2) 事業実績	道路に関する要望に対しひとつひとつ現地を調査確認し、道路維持補修工事や歩行系通路維持補修工事で施工するものと道路等日常保全業務委託で行うものを振り分けて、道路の維持補修を行い、道路の適正な管理に努めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	道路は、区民の生活を支えている最も基本的な公共施設であり、その道路に対する区民の要望は現在多様化し、環境面や安全性、快適な利便性等総合対策を含め、年々質の高い道路整備の要求が増えています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	振動、騒音など、快適な利用にかかるものや、交通の安全性にかかるものなど、様々な要望が年何千件も寄せられています。
	今後の予測	地方分権の促進による国有財産や都道移管、大規模開発等により、区の管理する道路が増加することが予想されます。今の経済状況では、道路が増えてもそれを維持管理していく予算が増えるとは考えられません。今まで以上に効率的な予算の執行が必要となってきます。
	評価と課題	区民に密着した道路の適正管理の面から道路維持補修事業は無くてはならない事業です。また、区民の要望に対して迅速に対応できる事業となっています。今後、道路維持補修の要望は、増えていくと思われま。また、予算の増加が見込めない状況から、今まで以上に精査をして、優先順位を決めて対応していきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	区民生活に密着した道路の維持管理は、道路維持補修事業だけではなく、路面改良事業とも密接に関係しています。道路維持補修事業の予算増加が見込めない中、効率的な予算執行を目指すために、今後は、充実してきた道路の工事履歴の情報と現場の情報を総合し、また、路面改良事業とも関連させ、精査に精査をかけ優先順位を決定していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		道路等清掃		款	5	項	3	目	1	事業	7	整理番号	405
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	工務係		連絡先電話番号		4632		昨年度整理番号	412	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和	▼	32	年度								
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区道を利用する歩行者や通過車両及び沿道住民。		根拠法令等		(1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条1項					
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○利用者に不快感を与えない清潔な道路環境を維持する。		活動指標名(式)		(1) 道路等清掃延長 (2) 雨水桝清掃箇所数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○清潔な道路環境を維持するため清掃対象路線(区道)の清掃を行う。 ○道路排水(台風時等)の機能を良好な状態に持つため雨水桝の清掃を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 清掃総延長(km) / 清掃対象路線延長(50km) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 清掃割合 算定式・指標の説明等 清掃総個数(個) / (桝総数 / 3)							
事務事業の概要		区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
		実績		計画	実績		計画(目標値)		実績		計画		
指標		活動指標(1) ①		km	1,629	1,594	1,720	1,600	1,732	1,600	108.3		
		活動指標(2) ②		個	37,060	20,600	47,388	20,750	33,666	20,750	162.2		
		成果指標(1) ③		回	33.00	32.00	34.40	32.00	34.60	32.00	108.1		
		成果指標(2) ④		回	2	1	2	1	2	1	160.0		
総事業費・コスト把握		事業費 ⑤		千円	78,414	82,716	79,729	78,876	74,821	77,403	23年度予算執行率% 94.9		
		(内)投資的経費等 ⑥		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 雨水桝については、3年間で区内すべての桝を清掃できるように年間計画個数を決めています。		
		(内)委託費 ⑦		千円	78,221	82,213	79,357	77,112	73,215	75,632			
		職員数(常勤 非常勤) ⑧		人	2.23 0.00	2.23 0.00	2.38 0.00	2.23 0.00	2.43 0.00	2.23 0.00			
		人件費 (内)常勤職員分(超勤分含) ⑨		千円	19,800	19,892	21,230	19,847	21,627	19,847			
		(内)非常勤職員分 ⑩		千円	0	0	0	0	0	0			
		総事業費⑤+⑨+⑩ ⑪		千円	98,214	102,608	100,959	98,723	96,448	97,250			
		単位あたりコスト (⑪-⑥)÷① ⑫		円	60,291	64,371	58,697	61,702	55,686	60,781			
		財源		受益者負担分 ⑬		千円	0	0	0	0		0	0
				国からの補助金等 ⑭		千円	0	0	0	0		0	0
都からの補助金等 ⑮				千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等 ⑯				千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (⑬+⑭+⑮+⑯) ⑰				千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(⑰-⑬) ⑱		千円	98,214	102,608	100,959	98,723	96,448	97,250					
受益者負担比率⑬÷⑱		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 405

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		雨水枿等清掃委託	33,666	箇所	43,401
	道路等清掃委託	1,732	km	26,473	
	廃棄物等運搬処理	15	回	1,388	
	その他 (ごみ袋等の消耗品)				3,559
	(2) 事業実績	<p>現在、道路清掃対象路線延長は、雨水枿は、6万余個に及んでいます。それらを適正な状態に保つため清掃等の頻度を総合的に精査、調整を行い、必要な維持管理に努めました。なお、23年度の雨水枿等清掃委託の契約単価が予定した価格よりも低かったため、年度計画以外の箇所も追加実施した結果、清掃目標個数より大幅に増加しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>近年、雨水枿を中心とした蚊の発生、異物投入による異臭発生などへの対応を求める要望が多く寄せられています。環境及び人体への影響の配慮から薬剤散布は行えない状況にありますが、安直にこれらを求める要望が多い状況にあります。</p>
	今後の予測	<p>近年、記録的な豪雨が頻発し、道路冠水が度々発生しています。この冠水が発生しないように雨水枿の増設要望が増加してきています。また、最近、一宅地が数宅地に分割され住宅の数が多くなる傾向にあります。こうなると、家のすぐ前に雨水枿が来るようになり、雨水枿が増えたことと相まって臭いや蚊の苦情が多くなると考えられます。</p>
	評価と課題	<p>道路清掃は、快適な道路空間の創出および路面排水の確保に役立っています。引き続き、雨水枿や道路の清掃を行っていかねばなりません。道路をきれいにしていくには、区のみでは限界があります。そこで地域住民の方々の力を借りて一緒に道路の美化を図っていきます。</p>

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	II 事業の改善
			<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	<p>道路清掃は、道路の排水をスムーズに行うために必要な仕事です。この仕事を無くすことはできません。当面は、現状のまま区で事業を進めていくが、将来は、地域の清掃ボランティアグループと連携を強め、「美・道路組」に発展させ、区と一緒に道路の美化を進めていきたいと考えています。</p>		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		道路の改良工事		款	5	項	3	目	1	事業	8	整理番号	406
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	設計係			連絡先電話番号	3315-4178		昨年度整理番号	413	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所						予算事業区分	投資事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	28	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 地方自治法第281条2項 等 (2) 道路法第16条、42条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○計画的に道路の改良工事を行うことにより、歩行者の安全性と快適性の向上及び車両の円滑な通行を図ります。また車両による騒音・振動等を低減し、沿道住民の居住環境を改善します。						活動指標名(式)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○年間5万㎡の在来道路の側溝及び舗装改修工事を行う。 ○雨水対策のとりくみとして、区画道路の透水性舗装化、浸透柵・浸透地下埋設管を設置する。 ○東京都下水道局との協定による暫定分流解消工事を行う。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)	実施計画に対する整備率								
				算定式・指標の説明等	整備面積÷実施計画面積×100								
				成果指標名(2)	浸透施設(透水性舗装・浸透柵・浸透地下埋設管)の累計時間浸透量								
				算定式・指標の説明等	透水性舗装:0.03㎡/h/㎡、浸透柵:0.7㎡/h/箇所、浸透地下埋設管:0.66㎡/h/m(2m/箇所)								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	㎡	50,104	50,000	52,148	50,000	40,658	40,000	81.3			
	活動指標(2)	②	㎡	7,537	7,500	4,860	7,500	2,022	4,637	27.0			
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	104.0	100.0	81.3	100.0	81.3			
	成果指標(2)	④	㎡/h	12,167	12,664	12,585	13,082	12,875	13,231	98.4			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	654,645	646,797	551,866	631,286	611,171	638,409	23年度予算執行率%	96.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	654,169	646,797	551,866	631,286	611,171	638,409	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	654,169	646,406	551,535	630,527	610,414	637,972				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	8.54 0.00	7.45 0.00	8.64 0.00	7.45 0.00	8.23 0.00	7.45 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	75,827	66,454	77,069	66,305	73,247			66,305	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	730,472	713,251	628,935	697,591	684,418	704,714				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,523	1,329	1,478	1,326	1,802	1,658				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0	
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	730,472	713,251	628,935	697,591	684,418	704,714				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 406

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		路面改良工事	40,658	m ²	518,391
	透水性舗装等工事	2,022	m ²	57,292	
	暫定分流解消工事	1,518	m ²	34,714	
	その他 (設計等事務費 ほか)			774	
	(2) 事業実績	路面改良工事は、区道約340km ² を計画的に施工し、平成23年度は約4万m ² を行いました。総合治水の一環である雨水流出抑制については、透水性舗装等を行いました。環境保護の面では、舗装材にリサイクル材を活用し、廃棄物から作られたガラスカレット・熔融スラグを混入することで、再生資源リサイクルに寄与しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会資本の更新に伴い建設副産物の排出量が増大し、資源循環に占める建設産業の比率がより高くなっています。このような状況から、環境への負荷の少ない循環型社会経済システム構築のため、公共建設工事が先導的役割を担い、再生資源利用及び建設副産物の再資源化等リサイクル推進を行っています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	車両通行による騒音・振動苦情、側溝の排水不良箇所や舗装面の補修、段差解消などの要望。また、工事中には施工に関する要望のほか、夜間工事の際は騒音・振動苦情も多く寄せられます。
	今後の予測	昭和40年初頭、モータリゼーション及び下水道の普及によりアスファルト舗装化された道路は、老朽化が顕著に現れています。交通量の増大に伴う、振動抑制や側溝改修等の強い要望に応えるため、道路維持補修事業との連携を行うことが求められています。
	評価と課題	道路の健全な保全に努めなければ、安全性は著しく低下し、通行時の大きな支障となります。当事業では、舗装のライフサイクルを考慮し、アスファルトのみを改良する等の経費の削減を行い道路維持補修事業との連携を行いながら計画的に施工しています。又、率先して舗装材の再利用等の再資源化の促進にも努めています。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	当事業ではコストの削減を鑑み計画的な補修計画を進めていますが、道路維持補修事業との連携しながら区民要望に応え、費用を抑制した路面改良計画を行っていきます。					

特記事項	
------	--